

第53回宮崎県高等学校柔道選手権大会実施要項

第43回宮崎県高等学校女子柔道選手権大会実施要項

(兼 第48回全国高等学校柔道選手権大会代表選考会)

- 1 大会趣旨 本大会は、高校柔道の普及発展ならびに競技力の向上を目指すとともに、柔道を通じて我が国の将来を担う高校生の相互親睦を図りながら、明るく正しく・たくましい青少年の健全育成を目的とする。
- 2 主 催 宮崎県柔道連盟 【全国大会主催：全日本柔道連盟 全国高等学校体育連盟】
- 3 後 援 宮崎県高等学校体育連盟柔道専門部
- 4 日 程

日時 / 場所	場所：宮崎県総合運動公園内 ひなた武道館柔道場
令和8年1月9日（金）	公式練習(会場設営)13:00～非公式計量 16:00～17:00～公式計量 17:00～18:00
令和8年1月10日（土）	公式練習 8:00～開会式 10:00～ 個人試合～表彰式～会場整備
令和8年1月11日（日）	公式練習 8:00～開始式 10:00～団体試合～閉会式（表彰）～会場撤収

- 5 会 場 宮崎県総合運動公園内 ひなた武道館柔道場

6 競技規則

試合は、国際柔道連盟試合審判規定ならびに全国高体連柔道部申し合わせ事項による。

(1) 個人試合

ア 試合時間は3分間とする。

イ 「優勢勝ち」の判定基準は「有効」または「僅差」（「指導」差2）以上とする。

ウ 試合終了時に得点差がない場合、もしくは「指導」差が1以下の場合はGSを時間無制限で行う。

延長戦は「有効」以上の得点差、または「指導」の数に差が出た時点で試合終了となる。「両者反則負け」の場合はスコアをリセットしてGSを行い、必ず勝敗を決する。

(2) 団体試合

ア 試合時間は3分間とする。

イ 「優勢勝ち」の判定基準は「有効」または「僅差」（「指導」差2）以上とする。

ウ チームの内容が同等の場合は、代表戦を行う。代表戦の方法は「8 競技方法」で定める。

7 参加制限

(1) 男子団体試合（※シードについては、県高校新人大会を基準とする。）

①参加校は任意参加とする。

②チーム編成は、監督1名・選手5名・補欠2名の計8名とする。（※人数不足は、後詰め）

③外国人留学生のチーム人員は、1名以内とする。

④男子個人試合において負傷し、団体試合の選手を兼ねていた場合は、選手変更をすることができる。

(2) 女子団体試合（※シードについては、県高校新人大会を基準とする。）

①参加校は任意参加とする。

②チーム編成は、監督1名・選手3名・補欠2名の計6名とする。（※2名でのエントリーも可）

③試合当日、両チームとも2名での対戦となった場合は、配列をそのままの順序で後ろに詰める（先鋒をあける）。なお、2名同士の対戦後、勝ち上がった場合、次の試合の配列はエントリー通りの配列とする。

④試合は、各チーム3名で行う。ただし、補欠は2名に満たなくてもよい。

⑤体重区分は、先鋒：52kg 級以下、中堅：63kg 級以下、大将：無差別とし、軽い者については重い階級に出場できる。なお、補欠は該当する階級に出場できる。

⑥計量にパスしない者は出場できない。

⑦外国人留学生については、卒業を目的として入学していること(短期留学は認めない)。

(3) 個人試合(※シードについては、県高校新人大会を基準とする。)

①男子の体重区分は[60kg・66kg・73kg・81kg・無差別]とする。

②男子は、各階級申込選手数は各校4名までとするが、本年度の県高校新人柔道大会個人ベスト4以上は別枠の人数とする。

※例1) 73kg 級申込：4人+新人73kg 級ベスト4以上入賞者2人、合計6人・・・など

※例2) 無差別申込：4人+新人90kg 級・100kg 級・100kg 超級ベスト4以上入賞者数は別枠

③女子の体重区分は[48kg・52kg・57kg・63kg・無差別]とする。

※団体・先鋒(52kg以下に登録した選手)の選手は、48kg・52kg・無差別のいずれかにエントリーできる。

※団体・中堅(63kg以下に登録した選手)の選手は、48kg・52kg・57kg・63kg・無差別のいずれかにエントリーできる。

④女子は、各階級申込選手数は各校4名までとするが、本年度の県高校新人柔道大会個人ベスト4以上は別枠の人数とする。

※例1) 52kg 級申込：4人+新人52kg 級ベスト4以上入賞者1人、合計5人・・・など

※例2) 無差別申込：4人+新人70kg 級・78kg 級・78kg 超級ベスト4以上入賞者数は別枠

⑤公式計量(1回のみ)で体重範囲をパスできない者は出場できない。(無差別も計量を実施する)

8 競技方法

(1) 個人試合

①男女とも体重別(4階級)および無差別とする。

②トーナメント戦で1～3位の順位を決する。3位決定戦は行わない。

(2) 男子団体試合

①トーナメント戦で1～3位の順位を決する。3位決定戦は行わない。

②各チーム間の試合は勝ち抜き試合とし、大将同士が引き分けた場合**オーダー毎試合変更可の点取り試合とする**。代表戦は、選手を任意に選出して行う。代表戦は、競技規則6-(1)に従うが、試合終了時に得点差がない場合は、GS(時間無制限)により必ず勝敗を決する。

③試合は各チーム5名で行い、試合ごとのオーダー変更を認める。**5名に満たない場合は後詰めとする**。オーダー登録用紙は、当日の試合前に総務・記録係りに提出する。

(3) 女子団体試合

①トーナメント戦で1～3位の順位を決する。3位決定戦は行わない。

②各チーム間の試合は点取り試合とする。勝敗の決定は、次による。

ア 勝ち数の多いチームを勝ちとする。

イ アで同等の場合は、「一本」による勝ち数の多いチームを勝ちとする。

ウ イで同等の場合は、「技有」による勝ち数の多いチームを勝ちとする。

エ ウで同等の場合は、「有効」による勝ち数の多いチームを勝ちとする。

オ エで同等の場合は、その試合の引分の対戦から抽選で代表戦を行う。代表戦はGS(時間無制限)で行い、「有効」以上の得点、または「指導」の数に差が出た時点で試合終了となる。なお、引分対戦がない場合は両者反則負けなどで勝敗がつかなかった対戦を代表戦とする。また、両チームが選手の負傷などで2名しかおらず引分対戦がない場合などは、すべての対戦から抽選を行い代表戦を行う。

③試合は、各チーム3名で行う。試合ごとのオーダー変更は認めない。エントリー時に**3名に満たない場合はオーダーは後詰めとする。項目7-(2)-②③の通り。**

9 参加資格

- (1) 選手は学校教育法第1条に規定する高等学校（中等教育学校後期課程）に在籍する生徒であること。
- (2) 宮崎県高等学校体育連盟に加盟している学校の生徒で、本大会の参加資格を得た者。
- (3) 宮崎県柔道連盟を経て、本年度の全日本柔道連盟登録完了者。
- (4) 平成19年4月2日以降に生まれた者。（令和7年4月2日現在、18歳未満であり、第1・2学年に在籍）ただし、同一学年の出場は1回限りとする。
- (5) チーム編成において全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混合は認めない。
- (6) 転校後6ヶ月未満の者は出場することができない。ただし、一家転住等の理由によりやむを得ない場合は、宮崎県高体連会長および宮崎県柔道連盟会長の許可があればこの限りでない。
- (7) 出場する選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する学校長の承認を得ること。
- (8) 参加資格の特例については、全国高等学校柔道選手権大会実施要項に準ずる。

10 引率・監督について

- (1) 引率責任者は、団体の場合は校長の認める当該校の職員とする。個人の場合は、校長の認める学校の職員とする。
- (2) 監督・コーチ等は、校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険（スポーツ安全保険等）に必ず加入することを条件とする。
- (3) 但し、外部指導者について各競技専門部における規定が定められ、監督・コーチが上記の基準より限定された範囲内であれば、その規定に従うことを原則とする。
- (4) 監督は、自身の所属団体および所属するすべての選手が大会会場に入場してから退場するまでの間、所属団体および所属するすべての選手の行動に責任を持たなければならない。
- (5) 監督の行為・言動についての確認と禁止事項
 - ①試合が止まっている間（「まで」から「はじめ」）のみ、所属選手に対し指示を与えることができる。
 - ②大会会場内での言動やマナーについて、所属団体・所属選手・所属応援者・所属関係者に大会前に周知徹底しなければならない。
 - ③試合が続行している最中に、指示を出すことや試合中に立ち上がることを禁止する。
 - ④対戦校・対戦相手・審判員・役員・応援者・自身の所属選手を侮辱する言動や行為を禁止する。
 - ⑤審判員や補助役員（計時係）の判定に対し、批判的発言、あるいは適正な手順なく訂正を要求することを禁止する。
 - ⑥その他、柔道精神・道徳に反する行為を一切禁止する。
 - ⑦原則として、監督は審判員に準じた服装とする。
- (6) 監督の行為・言動についての罰則規定（全国高体連に準ずる）
 - ①1回目は審判員が合議の上、口頭による「警告」を与える。
 - ②2回目は審判員が合議をし、大会委員長および審判長に報告の上、大会委員長および審判長の責任のもとに、その試合が終わるまで監督席から退場（試合場フロア外）させる。ただし、試合はその後も続行する。
 - ③10 - (6) - ②の事象が発生した場合、次の試合（団体試合は次の対戦校）からは監督席に座ることができるが、その後も改善されない場合は、大会期間中の試合場フロアへの立ち入りを認めない。

11 表彰および出場権利

- (1) 団体試合
 - ①優勝、第2位、第3位（2チーム）を表彰する。
 - ②優勝チームは、第48回全国高等学校柔道選手権大会の出場権利を得る。
- (2) 個人試合
 - ①優勝、第2位、第3位（2名）を表彰する。
 - ②団体優勝校、個人4階級および無差別優勝者は、全国高等学校柔道選手権大会の出場権利を得る。

(3) 第48回全国高等学校柔道選手権大会について

①開催日：令和8年3月27日（金）男女個人試合～28日（土：春分の日）男女団体試合

②場所：日本武道館

③大会ホームページ・・・<http://www.jhs-judo.jp/>

※大会要項・参加申込書類は、大会HPよりダウンロードしてください。

④大会参加申込サイト・・・<http://www.jhs-judo.jp/moushikomi.html>

12 計 量

	16:00～17:00 非公式計量	17:00～18:00 公式計量（1回のみ）	
令和8年 1月9日 （金）	※女子は、団体・個人とも計量を行う。 ※男女個人無差別級も、計量を実施する。 ※全国高校選手権大会に準ずる。 ※計量日調査用紙を、1/7（水）までに【県高体連柔道専門部（申込先）まで】提出してください。		ひなた武道館 柔道場

13 諸 会 議

令和7年12月26日(木)～28(土)	専門委員会（組合せ会） 錬成会期間に実施。	ひなた武道館 主道場控室
令和8年1月10日（土） 11日（日）	役員・学校代表者打合せ 9:15～9:45	主道場控室
令和8年1月11日（日）	閉会式終了後～全国大会出場校申込準備	

14 参 加 料 1チーム 団体：10,000円、個人1,000円（納入方法は、大会当日会場受付）

全国高等学校柔道選手権大会実施要項 5. 参加資格〔大会参加資格の別途に定める規定〕2-(2) 大会参加に際し守るべき条件③に基づき、本大会の参加料を徴収する。※申込後の欠場による返金はしない。

15 組 合 せ 令和7年12月26日（木）～28日（土）

※錬成会期間中、県高体連柔道専門部専門委員にて行う（場所はひなた武道館主道場）。

県高体連柔道競技専門部専門委員は、必ず参加すること。

16 参加申込先

<p>【申込方法】</p> <p>① 所定の申込ファイルにデータを入力。【学校名】で申込エクセルデータを保存</p> <p>② ①でプリントアウトした申込書に公印を付けたものを PDF データとして作成</p> <p>※①のエクセルデータ申込と②の PDF データ（公印有）を</p> <p>mikamika19770129@yahoo.co.jp 宛に送信する</p> <p><u>申込〆切：令和7年12月19日（金） データ・PDF（公印有）データ 17:00 必着（厳守）</u></p>
--

17 そ の 他

- （1）個人試合で負傷し団体選手を兼ねていた場合、選手変更は男子においては可、女子は不可。
- （2）競技中の傷害、疾病などの応急処置は行うが、その後の責任は負わない。その後は独立行政法人日本スポーツ振興センターの規定に従って、各学校で対応・対処すること。
- （3）参加者は、健康保険証を持参すること。
- （4）その他不明な点は、宮崎県高体連柔道専門部委員長まで連絡すること。

【 ※補足 】

全国高体連および全日本柔道連盟の全国高校選手権大会の運営方法及び競技方法について。以下の事項を確認してください。

(確認事項)

- ① 試合時間は、団体試合・個人試合ともにすべて3分間とする。
- ② 男子団体試合は、オーダー毎試合変更可の点取り試合。
- ③ 男子団体において、5名に満たない場合は後詰めとする。
- ④ 女子団体は3名に満たなくても良い。ただし、両チームとも2名での対戦となった場合は、配列をそのままの順序で後ろに詰める（先鋒をあける）。なお、2名同士の対戦後、勝ち上がった場合、次の試合の配列はエントリー通りの配列とする。
- ⑤ 観客制限等は特に無し。
- ⑥ 全柔連柔道衣規格（上衣、下穿、帯）を着用すること。

以上

全国大会の競技方法に準じて、県予選も競技方法を変更する。